

心理学実験実習 I (02JE0001)

(Laboratory Training in Psychology I)

授業形態：実習

授業時間：春・秋学期、月曜日、第3・4時限

教室：2B508 ほか

単位数：2単位

履修年次：1～3年

担当教員：全教員（世話人：登藤直弥）

研究室：人間系学系棟 A313 tel:6712

オフィスアワー：メールによる問い合わせ

教育目標との関連：心理学類生に対して心理統計の実習を行うことを通し、大学院修了後に学術研究・教育者あるいは高度専門実務者として研究・教育に当たる上で必要となる心理統計に関する見識及び教育的能力を高める。

授業の到達目標：大学生が心理学の研究・学習を行う上で必要となる、記述統計、推測統計（仮説検定）、各種データ解析手法に関する実習計画及び実習教材を作成し、教育的指導ができること。

授業概要：心理学を学ぶ上で必要となる主要な統計解析技法を「心理学統計法（講義）」で学んでいる学類生に心理統計の実習を行う。実習内容（形式、例題等）に関しては「心理学統計法（講義）」の内容に沿った上で自主的に計画する。なお、本授業は、学類秋 AB の「心理学統計法Ⅱ」の授業補助および秋 C の「心理学統計法実習」のインストラクターをすることにより、2単位を履修したこととする。また、履修者は「心理学統計法Ⅰ」（学類春 BC）の講義内容についても学類生に教授することとなるため、当該授業にも出席することが望ましい。

評価方法：受講状況。

教科書：南風原朝和 心理統計学の基礎 有斐閣、2002

参考図書：南風原朝和・杉沢武俊・平井洋子 心理統計学ワークブック—理解の確認と深化のために 有斐閣、2009

授業外における学習の方法：心理統計、データ解析等の書籍の講読を通し、実習計画を設計し、準備する。

受講生に望むこと：心理統計は、学術研究・教育者あるいは高度専門実務者として研究・教育に当たる者にとっては必須の学習事項であることを理解しておいて欲しい。

授業計画（各週毎授業計画）

心理学統計法ⅠならびにⅡにおいては以下のことを教授する予定である。履修者はこれらに関する実習内容を考え、実行すること。なお、心理学統計法Ⅰの初回の授業後に履修者に対してオリエンテーションを実施するので、履修を希望するものは必ず参加すること。

- 記述的指標（e. g., 平均, 分散, 相関）
- 確率モデルと標本分布
- 推定と検定の考え方
- カイ2乗検定
- （重）回帰分析
- t 検定
- 分散分析
- 因子分析
- 共分散構造分析

心理学実験実習Ⅱ (02JE002)

(Laboratory Training in Psychology Ⅱ)

授業形態：実習

授業時間：春・秋学期 月曜日 第5・6時限

教室：2B412 ほか

単位数：2単位

履修年次：1～3年

担当教員：全教員（世話人：相川充）

研究室：

オフィスアワー：

教育目標との関連：おもに教育者や指導者としての能力の形成を図る。

授業の到達目標：各種の心理学研究法を学生に教えることを通して、心理学研究法の教育・指導に関する能力を形成する。

授業概要：各指導教員が担当する研究グループの学生に対して、教員の指導のもと、院生が中心となって共同研究を遂行させる。研究構想から始まり、研究計画、研究の実施、データ分析、論文執筆、研究成果のプレゼンテーションまでを遂行させ、研究を完成させる。共同研究は春学期あるいは秋学期に二回に分けて実施する。

評価方法：研究指導の過程と研究成果の水準を総合的に勘案して単位の認定を行う。実習であるためテストは行わない。

教科書：実習のため指定しない。

参考図書：①南風原朝和・市川伸一・下山晴彦（編）『心理学研究法入門：調査・実験から実践まで』東大出版会、2001

②南風原朝和『心理統計学の基礎』有斐閣、2002

③松井 豊『改訂新版 心理学論文の書き方：卒業論文や修士論文を書くために』河出書房新社、2010

授業外における学習の方法：研究についてわかりやすく学生を指導するため、最先端の心理学研究法について、各自が積極的に学習を深めておくことが求められる。

受講生に望むこと：研究の高度な学術的水準の達成と学生に対するわかりやすい授業の両方を兼ね備えた内容になるよう真摯に取り組むこと。春学期、秋学期いずれも、オリエンテーションならびに反省会を行うので、必ず参加すること。

授業計画（各週毎授業計画）

0. 全体オリエンテーション
1. 前期コース研究指導1：各研究課題における研究動向の検討
2. 前期コース研究指導2：各研究課題における研究の構想
4. 前期コース研究指導3-4：各研究課題における研究計画の立案
5. 前期コース研究指導5-7：各研究課題における研究の実施（実験、調査、観察、面接等）
6. 前期コース研究指導8-10：各研究課題における結果の分析
7. 前期コース研究指導11-12：各研究課題における論文の執筆
8. 前期コース研究指導13：各研究課題におけるプレゼンテーションの準備
9. 前期コース研究指導14：研究発表会の開催

*後期コースも前期コースと同様に実施する。

心理教育の方法 (02JE006)

(Methodologies for Psychology Teaching)

授業形態：演習

授業時間：(不定期)

教室：人間系学系棟 A202

単位数：2単位

履修年次：1～3年

担当教員：濱口佳和（世話人）

杉江征、青木佐奈枝、沢宮容子

研究室：総合研究棟 D706 tel:7501

オフィスアワー：木 15:00～17:00

<e-mail:yhama@human.tsukuba.ac.jp>

教育目標との関連：心理学教育の専門家を育成するために、教員とともに議論をすることで、心理教育の方法を身につけさせる。

授業の到達目標：心理学教育の方法の開発ならびに実習の展開の仕方について実践的に学ぶ。

授業概要：心理専攻、心理学専攻合同の FD 研究会に参加し、指導教員の指導のもと、報告を行い、議論に参加することを通して心理教育の実際に触れ、知識情報を身につける。

評価方法：出席およびレポート。

教科書：とくになし。

参考図書：随時、有用な図書情報を配布する。

授業外における学習の方法：心理学研究法、統計実習における心理学教育に参加し、心理教育の実際について情報を収集し振り返ること。

受講生に望むこと：研究会では積極的な発言をすること。

授業計画（各週毎授業計画）

事前に予告される、心理専攻、心理学専攻合同の FD 研究会に参加し、指導教員の指導のもと、報告、議論、レポートの提出を行う。